

# 江津更生保護

第70回  
社会を明るくする運動  
特集号

発行者  
浜田地区保護司会  
江津分區



「いあごまひ」

江津市長 山下 修

更生保護関係者の皆様におかれては、様々な困難、ご苦労の中、更生保護にご尽力いただくとともに、犯罪や非行のない明るい地域社会を実現するため、日々献身的に活動いただいています。

このことに対し、心から敬意を表します。さて昨年、元号が平成から令和に変わりました。こうした中、犯罪白書によると、刑法犯罪は平成期前半において増加傾向にあり、平成14年に戦後最多となった後、後半は減少を続け、平成30年には戦後最少となっ

ています。しかしながら、特殊詐欺、児童虐待、暴行などの犯罪は総じて増加しており依然予断を許しません。また、再犯率は平成9年から一貫して上昇を続け、平成30年には48.8%と平成期で最高となりました。平成29年に我が国における再犯防止対策として「再犯防止推進計画」が策定され、その成果が見え始めたところですが、一方で、刑期を終えて社会に復帰する満期釈放者の再入率は、保護観察を受ける仮釈放者に比べ、2倍以上高

くなっています。こうした課題に対応し、「再犯防止推進計画」の実効性をより高めるため、昨年12月、犯罪対策閣僚会議で、「再犯防止推進計画加速化プラン」が決定されました。重点的に取り組む課題として、「満期釈放者対策の充実化」、「地方公共団体との連携強化」、「民間協力者の活動の促進」の3つについて積極的に進めていくことになっています。

犯罪や非行の背景には様々な要因が複雑に絡み合っており、罪を犯した人々の社会復帰をより困難なものにしています。このため、更生には、多くの人たちの手によって、長期間の支援が必要であり、地域社会の理解と協力、関係



「社会を明るくする運動」によせて  
浜田地区保護司会  
江津分區長 盆子原 民生

新型コロナウイルスが世界を揺るがし、パンデミックを引き起こし、これに対する、拡大防対策として「密集・密接・密閉」いわゆる三密が大きな柱として取り上げられました。

これらより、大人数での会議・集会等が自粛され、更生保護活動にも歯止めが掛って

来しました。

保護司会活動も年間の活動や協力団体との合同会議等、規制が掛かり、今までにない状態が続いております。このような状況の中、七月一日より「社会を明るくする運動」が、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラのもとに取り行われます。

機関との連携が欠かせません。更生保護関係者の皆様方はこうした観点に立って、罪を犯し立ち直ろうとする人に寄り添い、社会とのつながりを取り戻すため、これまで懸命に活動されています。

本市といたしましても、皆様のご協力のもと「社会を明るくする運動」や「青少年健全育成」を始めとした活動を今後も継続して行い、行政と地域社会が連携し、誰もが安心して暮らせる非行や犯罪の無い町づくりを目指してまいります。

結びに、「安心して暮らせるまち江津」の実現のため、皆様には引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願いし、ご挨拶といたします。

①犯罪や非行を防止し、安全で安心して暮らすことの出来る明るい地域社会を築くこと。  
②犯罪や非行をした人が、再び犯罪や非行をしないようその立ち直りを支えることが目標であります。その為には、地方行政・保護司・更生保護女性会・BBS・協力雇用主会と連携を深めながら、進めて行く必要があります。犯罪や非行をした人の立ち直りを支える再犯防止の大切さ、犯罪や非行した人が仕事・住居・教育・保健医療・福祉サービ

スなど支援を受けやすいネットワークづくり、犯罪や非行が起こらないよう将来を担う若い人への啓発活動に力を注ぐ必要があります。市民の皆様の協力の中で成し遂げられるものと考えています。御協力をお願い致します。

なお、最後になりますが、被害者・犯罪者をつくらぬ意味に於いても、新型コロナウイルスに乗じた詐欺被害には、十分注意されますようお願い致します。

# 徳島刑務所視察研修

令和元年 12月 17日～ 18日

浜田地区保護司会江津分区 研修部 神山哲夫

昨年12月17日から18日の一泊二日で、浜田地区保護司会江津分区の保護司10名で四国徳島県の徳島刑務所視察研修を実施しました。

17日の朝6時過ぎ観光バスで江津を出発、途中休憩を挟み昼前に徳島のうどん屋に到着し、名物のたらいうどんをお腹いっぱい食べてから徳島刑務所に到着しました。到着後庶務課長さんよりDVDを交えて徳島刑務所の説明を受けました。徳島刑務所は明治三年旧藩牢獄を改修して設立された古い歴史を持つ施設とのこと。受刑者の特徴は、男性受刑者で無期刑及び執行刑期10年以上の犯罪傾向が進んだ者（LB指標受刑者）。執行刑期が10年未満で犯罪傾向が進んだ者（B指標受刑者）を収容し、収容定員は1,093名（既決976名／未決117名）であり仮釈放寮（定員10名）の設置、65歳以上の高齢受刑者等を対象とした機能促進センターの運用および一般・特別改善指導（6種類）を行っているとのこと。注意事項の説明を受け施設内の施設・刑務作業状況を見学し会議室で質疑応答をしました。保護司からの質問に明確に答えていただき有意義な視察研修でした。

研修終了後、一階展示場で当刑務所および各地の刑務所で作られた刑務所作業製品を購入して終了しました。

バスで高知市内に移動し、高知名物の皿鉢料理を囲み参加保護司の親睦を深めるとても有意義な研修旅行でした。



徳島刑務所前

## 令和元年度江津分区表彰保護司

- 中国地方更生保護委員会委員長表彰 豊田 統夫 神山 哲夫
- 中国地方保護司連盟会長表彰 福間 徹雄
- 鳥根県保護司会連合会会長表彰 鍛冶恵巳子

### 令和2年度浜田地区保護司会江津分区役員名簿

役職名	氏 名	役職名	氏 名
分 区 長	盆子原 民生	研 修 部 長	三 上 良 紀
副 分 区 長	藤 田 厚	犯 罪 予 防 部 長	三 瀧 香 順
事 務 局 長	永 妻 壽 則	協 力 組 織 部 長	村 川 立 美
会 計	村 上 博 行	監 事	和 原 勝 博
総 務 部 長	豊 田 統 夫	〃	神 山 哲 夫

### ＜部会構成名簿＞

部会名	部 長	副 部 長	部 会 員
総 務	豊田統夫	和原勝博	永妻壽則 千代延尚子 鍛冶恵巳子
研 修	三上良紀	神山哲夫	藤田 厚 富金原晴江 島田修二
犯罪予防	三瀧香順	村上博行	山根英毅 藤代雅充
協力組織	村川立美	福間徹雄	盆子原民生 福富孝男 門 屋臣

### ＜社会貢献活動担当保護司＞

永妻壽則

### ＜「江津更生保護」編集委員＞

永妻壽則 豊田統夫 神山哲夫 和原勝博 村上博行

### 編集後記

広報誌「江津更生保護」特集号発刊にあたり、江津市長山下修様には新型コロナウイルス感染症発生に伴う多事多端な折りにも拘わらず玉稿を賜り厚く感謝申し上げます。

保護司会も事業、研修会、会議などが全て中止、延期となり大きな影響を受けておりますが、これからも私たち保護司会は地域での犯罪や非行の防止、罪を犯した人の更生改善や青少年健全育成活動などに積極的に取り組んで参りますので、今後とも地域の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

編集委員一同

# 令和元年度保護司会江津分区の活動紹介

保護司会江津分区では、“社会を明るくする運動”を中心に市内の小、中学校との連携事業や青少年健全育成活動並びに資質向上のための研修会開催や視察事業などに取り組み、保護司として任務遂行のために様々な事業、研修活動を行っております。

以下、令和元年度の「第69回社会を明るくする運動」の活動を中心に概要を紹介いたします。

## 【1】「第69回社会を明るくする運動」江津市推進委員会の開催

○7月1日（月）午後1時30分～2時30分

江津市総合市民センター2階会議室

「第69回社会を明るくする運動推進委員会」と「江津市青少年健全育成協議会総会」が関係者60名の参加のもと、盆子原民生分区長から山下修江津市長へ安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージが伝達され、第69回社会を明るくする運動がスタートしました。

## 【2】中学生を対象とした標語の募集

○募集期間 6月20日（木）から7月12日（金）

- ・1次審査会……各中学校で審査（各校15作品・計60作品）
- ・2次審査会……市役所関係課長による審査（教育長ほか8名）
- ・最終審査会……保護司会役員会……8月29日（木）
- ・表彰式……10月4日（金）午後4時～ 江津市役所



第69回社会を明るくする運動推進委員会

賞名	作品	学校名	学年	氏名
最優秀賞	考えて 送信ボタンを 押す前に	青陵中学校	3年	小川 媛子
優秀賞	君の声 たよりにしている 人がいる	江津中学校	3年	小玉 心ノ介
	勇気だし 一声かけよう 「大丈夫？」	桜江中学校	3年	馬木 希美
	ちよっと待て 相手の立場で考えた？	青陵中学校	3年	石倉 麻結
	あいさつは 地域とつながる 合言葉	青陵中学校	3年	渡邊 安翼
佳作	見て見ぬふり それってあなたも いじめだよ	江津中学校	3年	山田 楓花
	考えて その行動は 正しいの？	江津中学校	3年	中村 来夢
	その行動 一度止まって 考えて	江東中学校	1年	島田 らむ
	笑顔でね 声をかけよう 自分から	江東中学校	1年	高木 かほり
	あったかい あなたのやさしさ だれかを救う	江東中学校	1年	森下 結加
	見てるだけ それじゃだめだよ 変わろうよ	江東中学校	2年	永井 涼香
	「ありがとう」 世界をつなぐ合言葉	桜江中学校	2年	竹下 泰生
	周り見て あなたを支える 笑顔の輪	桜江中学校	1年	升本 希咲
	考えよう それで相手が 幸せか	桜江中学校	1年	井上 茜

令和元年度  
**島根保護観察協会**  
**江津地区会員名簿**

【特別会員】 (敬称略)

- 浅利観光株式会社 代表取締役 植田 裕一
- 福田水産株式会社 江津工場
- 日本製紙株式会社 江津工場
- 永高青果株式会社
- 今井産業(株) 代表取締役 今井 久師
- 永井建設(株) 社長 永井 武彦
- 江津土建(株) 社長 室谷 卓治
- (株)永大整備工業 代表取締役 永井 憲雄
- (株)しちだ教育研究所 代表取締役 七田 厚
- (株)原工務所 代表取締役 佐々木賢一
- (株)丸惣 代表取締役 酒の山尾 (有)渡辺酒店
- (有)浅利タクシ 代表取締役 山根 英毅
- (有)石見浄化槽センター
- (有)江津衛生公社
- (有)武田石油店
- (有)パレス和光 伊藤 誠二
- 医療法人心和会 船津内科医院 船津 康裕
- 医療法人恒仁会 山脇整形外科医院 藤田 裕
- 江津市副市長 坪内 涼二
- 島根県議会議員
- 江津市 市議会
- 江津市教育委員会 教育長 小笠原 隆
- 嘉久志地区連合自治会
- 桜江ライオンズクラブ
- 江津市更生保護女性会 会長 山脇 里美
- 山原商店
- 大源 洋子

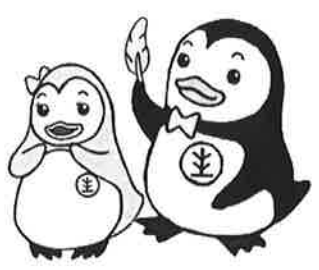
【賛助会員】 (敬称略)

- 株式会社 永井運送
- 岩本ダイス工業(株) 代表取締役 岩本 淳
- 森下建設(株) 森下 幸生
- 浜松建設(株)
- 堀江化工(株) 代表取締役 堀江 成
- (株)ダサイ
- (株)ツチヨシ産業 江津工場
- (株)瓢屋 島根事業所
- (株)服部工業 代表取締役 服部 良之
- 有限会社 アイネット 社長 佐々木啓之
- 五大設備(有) 中央(有) 吾妻
- (有)浅野建設 代表取締役 浅野 知宏
- (有)井上建材店
- (有)井上製作所 代表取締役 井上 益雄
- (有)後山工務店 後山 宏昌
- (有)岡田建設 代表取締役 岡田 大朗
- 鹿取建材(有)
- (有)江津塗装
- (有)島根環境保全センター 代表取締役 森口 裕行
- (有)田中電設 代表取締役 田中 壽
- (有)もりでん 代表取締役 森脇 幸雄
- 泉文盛堂(有) 代表取締役 松浦 元則
- 太田民芸店 太田 幸生
- 江津市民生部門 参事 村上 郁夫
- 江津水道工事 有限会社 代表取締役 渡邊 秀
- 立川不動産 立川 雄三
- (株)中央 代表者 青笹 輝和
- ピューティイサロンズ レース
- 本藤司法書士 合同事務所 本藤 繁夫
- 播磨屋林業(株) 尾前 豊
- 薬王寺 末 豊源
- ゆめタウン江津
- 吉田米穀店 吉田 茂
- ロードテクノ

【協力会員】 (敬称略)

- 株式会社 ワイエム商会 代表取締役 宮津 秀行
- 大成電気水道工業株式会社
- オオアサ電子(株) 江津工場
- 西戸崎興産(株) 島根事業所
- (株)ふすま・インテリア 森崎
- 代表取締役 森崎 幸
- 保険ショップ 有限会社 代表取締役 小路 保
- 有限会社 岩地電器 岩地 隆夫
- (有)小川鉄工所
- (有)島根急送 代表取締役 社長 河野 浩臣
- (有)新風堂
- (有)中田屋 代表取締役 富金原 容子
- (有)第一資材
- (有)よろこぼう屋 代表取締役 山藤 貢
- 菓子処 みなと 湊 敦彦
- 川越まちづくり協議会 会長 中村 征雄
- 川越コミュニティ交流センター 会長 坂本 勤
- 川戸地域コミュニティ協議会 会長 今田 三之
- 珈琲人館
- 佐々木歯科医院
- 慈照坊
- 藤長寺
- 長谷郵便局長
- ふじい歯科クリニック
- 藤代醤油醸造元
- 渡部秀信 税理士事務所
- Brocart 宇都宮 将

- 跡市更生保護女性会 三瀧 操
- 江津市社会福祉課 課長 小川 英昭
- 市山地域コミュニティ
- 交流センター 長 渡辺 克修
- 有福温泉地域コミュニティ
- センター長 横田 弘昭
- 門 屋臣
- 佐々木節也
- 豊田 統夫
- 富金原 真慈
- 福富 孝男
- 盆子原 民生
- 沖田のり子
- 大坂 英晃
- 黒川 貢
- 山藤 一之
- 砂田 忠
- 高橋 久美子
- 中村 瑠子
- 野海 豊
- 原田 ミヤ子
- 藤田 厚
- 堀 辰雄
- 村川 立美
- 森脇 輝
- 門 哲子
- 佐々木 裕美
- 豊田 智子
- 富金原 晴江
- 福富 優子
- 盆子原 久恵
- 横田 淳子
- 山中 康徳
- 小武 久方
- 山藤 美和
- 田中 直文
- 千世 延尚子
- 中村 文子
- 野津 恵智子
- 福原 昭平
- 船津 正雄
- 村上 博行
- 森口 直幸
- 永妻 壽則



## 『市内中学校訪問による懇談会を実施』

「社会を明るくする運動」が毎年七月を強調月間として、全国一斉に様々な運動が展開されます。浜田地区保護司会江津分区分では七月十六日（火）市内の中学校に向き、登校生「おはようー」キャンペーンと題し、挨拶運動を行いクリアファイルにリーフレットと携帯ティッシュを挟んだものを一人ひとりに手渡し、啓発運動を実施しました。又、今回は初めての取り組みでしたが各中学校にお邪魔して、保護司会の活動説明をすると共に、中学校の様子や夏休みの計画などの現状についてお話をさせて頂きました。

二十名の保護司が各々の地域に分かれ、市内の四中学校の生徒約五百六十人にあいさつを交わす。朝七時過ぎからおよそ一時間、歩いて登校する生徒、自転車通学の生徒、友達同士で会話をしながら来る生徒、大きな声であいさつする生徒、笑顔を返す生徒、何も言わず目も合わせようとしない生徒……「次代を担う子供たち」の姿を見た後で、それぞれの学校の校長先生と懇談を行いました。

地域環境や生徒数に関係無く全体的に生徒は落ち着いているし、部活動も活発に行われている様子。また、少子化の影響が部活以外の社会スポーツ（ダンス、卓球、神楽、剣道、水泳など）に参加している子供も多く成ってきている。夏休み中の生徒も先生も忙しそうだ。

一方で、反社会的行動ではなく非社会的行動（心理的要因による不登校や集団から離れて自分だけの内に閉じこもろうとする行為や行動）な子供が居る事も現実であり、教育や指導は、学校だけでは出来ない時代に成り、SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）や臨床心理士等との共同・協力が必要と深刻な様子も窺がえました。

保護司会として初めての取り組みでしたが、学校も校長先生も本気度が感じられました。限られた時間で核心の論議には成りませんでした。懇談が実施できたことは積極的に評価したいと思います。時間を割いて頂いた先生方に感謝すると共に、今後もお互いの現状認識の為に、こうした機会を持つことは意義があることだと思えました。



青陵中学校訪問

## 江津市へ

### 再犯防止推進計画策定要望活動実施！

再犯防止推進計画とは国民が犯罪による被害を受けることを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現を図るため、政府が取り組む再犯防止に関する計画のことです。

平成二十八年十二月、再犯防止推進法が成立、施行され、国・地方公共団体・民間が一丸となった取組が重要であるとされました。

これは犯罪をした者等が多様化が進む社会において孤立することなく、再び社会を構成する一員となることができるよう「誰一人取り残さない」社会の実現に向け関係者が連携協力することが重要であるとされており、そのための重点施策として①就労・住居の確保②修学支援③民間活動推進④保険医療促進④地方公共団体との連携強化などが課題として掲げられています。

こうした施策を促進するため、浜田地区保護司会江津分区分と松江保護観察所が連携して、去る一月十七日（金）、江津市へ再犯防止推進計画策定の要望活動を行いました。

当日は江津市より藤田副市長、小川社会福祉課長、勝部同補佐らが出席され、保護司会からは穂坂松江保護観察所長、杉田浜田地区会長、益子原江津分区分長らから策定要望書を手渡し要望を行いました。

この要望の席では、江津市における施策の現状や保護司会組織の現況、活動実績や今後の課題などについて意見交換、協議がなされました。

そして今回の要望について、江津市では再犯防止推進計画策定は江津市の安全、安心のまちづくりのためには重要であることを踏まえ、今後、県や他市の状況も見ながら、検討を進めるとの前向きな回答でした。

更に、今後の具体的な取組みについては江津市と保護司会が連携しながら進めていくことが確認されました。

保護司会としても、こうした要望活動を通してながら保護司会活動を幅広く推進し、また行政をはじめ関係機関との連携を一層強めていくことが必要であると改めて認識しました。



江津市への要望

## 【3】作文コンテスト

作文コンテストは、法務省が次代を担う全国の小、中学生の皆さんに日常生活や学校生活の中で体験したことをもとに、犯罪や非行のない地域社会づくりや犯罪や非行などに関して考えたこと、感じたことを作文に書くことを通じて、運動に対する理解を深めてもらうことを目的として実施されます。

1. 江津市、浜田市の小学校7校から14作品、中学校11校から23作品の応募
2. 地区審査会により小、中学校から各5作品を県審査会へ推薦

江津市推薦作品

小学校の部

岡田 瑠子 津宮小学校6年

「あいさつがつなぐもの」

中学校の部

細木 彩花 江東中学校3年

「事件をおこさないためには」

松浦 美菜 江津中学校3年

「つながりのはじまり」

酒井 綾美 青陵中学校2年 「家族で守る」

二本木一歌 江津中学校2年 「私のできること」

3. 県審査結果

中学校の部

更生保護法人島根保護観察協会理事長賞

細木 彩花 江東中学校3年

「事件をおこさないためには」

山陰中央新報社賞

松浦 美菜 江津中学校3年 「つながりのはじまり」



標語表彰式

## 【4】幟旗掲出

“社会を明るくする運動”の周知を図るために市内各所に掲出しました。

- 掲出期間 7月1日(月)から7月31日(水)
- ・江津町 市役所周辺 15本
  - ・和木町 国道9号線沿い 30本
  - ・桜江町 B&G体育館前 15本



幟旗掲出

## 【5】大型懸垂幕

“社会を明るくする運動”期間中、前年度標語の最優秀作品を市役所庁舎に掲出しました。

- ・平成30年度標語最優秀作品

「その言葉 自分に言われて どう思う？」

江津中学校1年 山田 颯花さんの作品

## 【6】汽車通学生への啓発キャンペーン

通学生のほか一般の乗降客や通勤者など200名を越える方へパンフレット、ティッシュペーパーを渡し“社会を明るくする運動”と非行防止の啓発活動を実施しました。

- 実施日 7月1日(月)午前7時～8時40分
- 場 所 JR江津駅
- 協 力 江津警察署 江津市更生保護女性会



JR 江津駅キャンペーン

## 【7】大型店頭啓発キャンペーン

- 実施日 7月1日(月)午後4時～6時
- 場 所 いずみ江津店 キヌヤ二宮店  
ジュンテンドー江津店 キヌヤ都野津店
- 協 力 江津警察署 江津市更生保護女性会

## 【8】中学校早朝「おはよう！」キャンペーン

地区担当保護司が市内4中学校へ訪問し、登校する中学生全員に挨拶しながら社明キャンペーン用品を渡し、社明運動の啓発活動を行いました。

- 実施日 7月16日(火)午前7時～8時20分
- 生徒数
- ・江津中学校 230名
  - ・青陵中学校 228名
  - ・江東中学校 53名
  - ・桜江中学校 44名



中学校「おはよう！」キャンペーン